

1. 申請者情報

都道府県名	愛知県	市区町村等名	豊田市	地方公共団体コード	23211
-------	-----	--------	-----	-----------	-------

2. 交付対象事業の名称等

単独／広域 ／広域リー ジョン	交付対象事業の名称					
広域連携	自動車産業・観光産業の広域クラスター推進事業					
主となる事業分野 (入力必須)	事業分野 (大項目)	地域産業クラスター関 連事業	事業分野 (詳細)	「地域産業クラスター」を目指す取組及びこれに関 連する周辺的な取組	事業分野	○
ソフト事業実施期間	2026 年 4 月 1 日 から 2029 年 3 月 31 日 まで	} 入力必須 (実施事業のみ)				
拠点整備事業実施期間	年 月 日 から 年 月 日 まで					
インフラ整備事業実施期間	年 月 日 から 年 月 日 まで					

連携地方公共団体数	3	←入力必須（広域連携事業・広域リージョンとして実施する事業）
-----------	---	--------------------------------

＜ 連携地方公共団体 ＞

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共 団体コード	【ソフト事業】 対象事業経費	【ソフト事業】 申請額(左記の1/2)	【拠点整備事業】 対象事業経費	【拠点整備事業】 申請額(左記の1/2)	【インフラ整備事業】 対象事業経費	【インフラ整備事業】 申請額
1	愛知県	豊田市	23211	1,260,200千円	630,100千円				
2	愛知県	名古屋市	23100	362,000千円	181,000千円				
3	岐阜県	恵那市	21210	423,200千円	211,600千円				
計				2,045,400千円	1,022,700千円	0千円	0千円	0千円	0千円

3. 交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)	
自動車産業は日本の基幹産業であり、その裾野は地域経済、雇用、観光、技術開発に広く波及効果をもたらしてきた。一方で、全国的に人口減少や若年層のクルマ離れが進み、産業の持続性確保が重要課題となっている。こうした状況下において、FIAが統括する自動車競技の世界大会で、創設以来50年以上の歴史と伝統を誇る世界最高峰のモータースポーツである「世界ラリー選手権(WRC)」の日本ラウンドの開催契約を豊田市が締結し、豊田市に加え名古屋市・恵那市が民間団体とともに主催者となり、国際競技を通じて、地域のみならず日本全体の産業・観光振興に資するコンテンツとして実施されることとなった。 このコンテンツは、公道や街並み、自然環境そのものを舞台として活用できる特性を持ち、専用施設に依存しない。そのため、地域固有の自然・街並み・文化資源を生かした地域活性化モデルを構築できる点にも大きな価値があるとともに、地域の独自性を国際的に発信する「地方創生モデル」へ発展し得る高い拡張性を備えている点が特徴である。 都市部を代表する名古屋市と、競技エリアの多くを有する山村部の豊田市・恵那市が連携して大会を展開することにより、名古屋市内でのセレモニーやパブリックビューイングなどの都市型イベントを通じて、若年層・ファミリー層をはじめとするライト層の関心を喚起することが可能となる。一方、豊田市・恵那市に広がる競技エリアには、走行シーンを間近で見たい、選手や車両を深く知りたいといった国内外の熱心なファンが訪れ、地域を周遊する。こうしたライト層とコアファン双方の来訪・交流が、都市部と山村部を横断する広域的な関係人口と観光需要の拡大をもたらすことに加え、名古屋市が有する自動車産業の集積、企業ネットワーク、国際発信力を生かすことで、モータースポーツを核とした産業PRが融合し、日本の自動車産業の競争力強化やインバウンド促進にもつながる。 本事業は、豊田市・名古屋市・恵那市という異なる特性を持つ自治体が広域連携により、WRCの国際ブランド力を最大限に活用することで、地域産業・観光・交流人口を統合的に活性化し、愛知・岐阜のみならず日本全体の活性化に貢献することを目指す。	
B. 地方創生の実現における構造的な課題	
【課題1 自動車産業への若者の関心低下】 豊田市は日本有数の自動車産業集積地であり、恵那市も製造業・関連サービス業を主要産業としているが、近年は若者のクルマへの関心低下が進み、地域の自動車関連企業では新卒希望者の減少や技能人材の確保難が深刻化している。また、名古屋市においても多くの企業・大学が集積する一方で、公共交通機関の利便性の高さからからも、若者がクルマの魅力に触れ、価値を体感する機会が限られている。このような自動車産業に対する若者の指向性の低下は、自動車産業を志向する学生の減少や技能人材の確保難につながっており、3市に共通する課題となっている。 さらに、国内新車市場の成熟化や消費行動の変化により、自動車そのものへの興味・購買行動が減少し、地域産業の将来性に影響が及んでいる。こうした状況の中で、自動車産業を基盤に持つ3市が連携し、若者が「クルマの魅力と価値」を直接体感できる機会を創出することは、次世代の産業人材や将来のユーザー層の育成につながるものであり、地域の持続的な産業発展に向けた重要な取組である。	
【課題2 国際イベント活用に向けた広域連携体制の不足】 世界ラリー選手権は、世界規模の集客力と高い認知を取り込めるポテンシャルを有し、観光入込客数の拡大、インバウンド誘客、企業PR、国際発信など、多方面に波及する効果が期待されるコンテンツである。しかし、こうしたイベントの効果を最大限に生かすためには、都市部の発信力と山村部の体験価値を有機的に結びつける広域連携体制が不可欠であるにもかかわらず、現状ではその仕組みが十分に整備されていない。 本大会において、都市部を代表する名古屋市と、競技エリアの多くを有する山村部の豊田市・恵那市が連携して事業を展開することにより、都市と山村が相互補完する広域連携体制を新たに構築することが可能となる。これにより、自動車産業PRの高度化や、都市部を活用した新たな価値の創出が促進され、本地域にとって重要な転換点となる。	
【課題3 観光入込客の減少と周遊・関係人口の創出不足】 都市部・恵那市を含む山村地域では、近年、観光入込客数の減少や季節偏在が課題となっており、地域に存在する多様な自然景観や食・文化といった資源が十分に生かされていない状況が続いている。都市部と比較すると、交通利便性や情報発信力の面で不利な構造があり、観光需要が周辺地域に流出しやすいほか、滞在時間や消費額が伸びにくいという傾向もみられる。これらの課題を克服するためには、地域資源の魅力を生かすとともに、広域的な誘客を促す新たな仕組みの構築が求められている。	
C. 交付対象事業の概要 (交付対象事業がどのように構造的な課題の解決に寄与するのかが分かるように記載すること。)	
1 豊田市・名古屋市・恵那市の3市連携による国際イベントの開催(課題1、2、3への対応) 豊田市・名古屋市・恵那市の3市が連携し、都市部の発信力と山村地域の特性を生かした国際開催体制を構築する。名古屋市内でのセレモニー開催やパブリックビューイングなどの都市型イベントの開催により若年層の関心を喚起しつつ、豊田市および恵那市の山村地域の競技エリアと連動して広域的な集客力と観光入込客の増加を図る。また、本地域でのWRC開催は、地域産業の活性化や交流人口の増加に寄与するものであり、蓄積した運営ノウハウを活用し、将来的には他地域でも展開可能なモデルとして全国へ波及させていくことを目指す。 ①開催に向けた広報・営業活動 ②安全かつ円滑な競技・会場運営体制の構築 ③開催に必要な施設・設備の整備 ④ノウハウ蓄積による人材育成と地域経済循環の仕組みづくり	
2 国際イベント開催の効果を活用した観光誘客及び地域活性化事業(課題2、3への対応) 本地域で開催される国際イベントの集客力と認知度を活かし、都市部と山村部を横断した広域的な観光誘客の強化、地域内回遊の促進、滞在時間の延伸等を図る取り組みを実施する。特に、名古屋市が連携主体として加わることで、発信力の強化と誘客効果の最大化を図り、地域経済への波及効果を高める。 ①開催を契機とした広報・集客促進事業 ②地域の魅力発信及び賑わい事業 ③来訪者アンケートや経済波及効果等の調査等 ④イベント効果を踏まえた地域の魅力や価値を高める事業	
3 クルマやラリーを生かした地域活性化事業(課題1、3への対応) クルマやラリーに親しむイベント、交通安全教育、環境配慮の取組など、多様な層が参加しやすい事業を展開する。とりわけラリーに親しむイベントや交通安全教育はこどもへのアプローチを強化し、次世代の産業人材育成へとつなげる。また、地域資源との連携により、自動車産業への関心喚起と観光入込客の増加を促し、地域産業の魅力向上と活性化を図る。 ①「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ」、「豊田しもやまラリー」、「WOMEN'S RALLY」等のラリー競技大会を生かした観光誘客事業 ②既存の民間モータースポーツ施設、交通安全学習センター及び環境学習施設とラリー関係者や自動車関連企業が連携した交通安全やカーボンニュートラル等の講座実施 ③モータースポーツと市内観光資源や宿泊施設、特産品販売を結びつけるツーリズム事業の造成や新たな商品開発	
D. 事業分野(大項目)のいずれかを選択した理由 (地域未来戦略における3分類(戦略産業クラスター関連事業／地域産業クラスター関連事業／地場産業支援関連事業)との関連性) 本事業は、国際的に高い発信力を有するコンテンツを核として、豊田市・名古屋市・恵那市の3市が連携し、自動車産業・観光産業・関連サービス業を横断的につなぐ広域産業クラスターの形成を目的とする新規事業である。都市部と山村地域の双方の特性を生かし、広域的な交流人口の創出と産業活性化を同時に図る体制を構築する。都市部の名古屋市が持つ高い情報発信力、企業主席、国際ネットワークを生かしつつ、豊田市・恵那市の山村地域が持つ観光資源や産業と相互補完することで、広域的な産業連携が可能となる。これにより、地域内での周遊性向上、滞在時間の延伸、観光需要の拡大など、地域経済への多面的な波及が期待される。 さらに、このコンテンツは、公道や街並み、自然環境そのものを舞台として活用できる特性を持ち、将来的に他地域への展開が容易である。各地域が独自の文化や自然を組み合わせたイベント創出につながられるため、再現性の高い地域活性化モデルとして展開可能である。これらの点から、本事業は複数の自治体が連携し、交流人口の拡大と産業振興を一体的に進める「地域産業クラスター関連事業」と	

4. 優先採択テーマへの該当

優先採択テーマ	
---------	--

5. 他政策・施策等との連携状況

＜中心市街地活性化に係る事業＞

概要	
----	--

＜特区制度を活用した、又は活用しようとする事業＞

特例措置活用		提案		事前相談	
特例措置・提案・事前相談名					
特区指定・認定		特区種別①		特区種別②	特区種別③
概要					

＜対日直接投資の誘致を支援する取組につながる事業＞

概要	
----	--

＜地域のデジタル人材への教育のための事業＞

概要	
----	--

＜スタートアップ支援に係る取組＞

概要	
----	--

6. 他の政策・施策に基づく取組と連携する事業における弾力措置の対象となる事業

連携する取組		所管省庁への 事前相談	
主務大臣による認定を受けた政策・施策間連携に関する事業計画の名称			
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、個別事業者への支援が含まれる場合のみ記載	基本計画に適合するとして承認された地域経済牽引事業計画の名称		
	主務大臣の承認を得られた連携支援計画の名称		
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、設備投資等の支援を行う場合のみ経済波及効果を記載			

7. 対象外事業の除外

(1)	ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
(2)	ソフト事業及び拠点整備事業において、従前から一般財源により実施されている事業経費や経常的な経費等の財源振替、地方公共団体が実施する福祉事業等、本来一般財源で措置すべき経費を除外しているか。	○
(3)	ソフト事業及び拠点整備事業において、提案、企画・立案に関するコンサルティング経費を除外しているか。	○

8. 交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI)

KPI① (事業・施策の全体効果を 示す必須KPIを設定すること)	国際イベント開催に伴う全国への経済波及効果										単位	億円
KPI②	国際イベント開催による雇用所得誘発額										単位	億円
KPI③	国際イベントとしてのメディア露出価値										単位	億円
KPI④	ホストタウンパートナーによる協賛数										単位	団体
KPI⑤	大会運営協力者数(マージャー、競技ボランティア、各市町ボランティア)※延べ人数										単位	人
KPI⑥	3市における関連イベントへの来場・参加者数										単位	人
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠	本事業で設定した6つのKPIは、ラリージャパンがもつ「集客・産業・観光・発信・人材」の多面的な効果を定量的に把握できるものであり、複数年での費用対効果を継続的に比較するのに適している。 KPI①経済波及効果、KPI②雇用所得誘発額 本事業で実施する国際イベントが日本経済に与える効果を調査することで、国内開催する価値を測ることができる。 計測手法：イベント開催による経済的効果を測定するため、参加チーム、来訪者、関係事業者等を対象とした調査を実施し、専門事業者へ委託して分析を行う。 目標値の根拠：競技エリアの多くを有する山村部の豊田市・恵那市と都市部である名古屋市中のセレモニー開催等によって、宿泊を伴う来場者増加や海外からの来場者増による消費額の拡大を見込み、経済波及効果を初年度は140億円、雇用所得誘発額は40億円を見込む。また2年以降については、プロモーション効果の向上や来場者や消費額の増加によって、経済波及効果は各年5億円の増、雇用所得誘発額は各年0.75億円の増を目標とする。※初年度の見込み額は国内類似事例における実績値を基礎資料として設定している。											
	KPI③メディア露出価値 メディア露出価値は、本事業で実施する国際イベントが持つ発信力を測定する重要な指標であり、テレビ・新聞・ウェブ記事・SNS等の国内主要メディアを中心に広告換算価値として金額評価を行うことで、都市部における情報発信効果も効果検証に資する指標となる。また、国際的なイベントであるため、国内メディアでの露出を基礎としつつ、海外メディアやSNSを通じた波及効果も期待され、地域産業クラスターとしての知名度向上に寄与する。 計測手法：テレビ、ラジオ、新聞、ウェブメディアなどでラリージャパンが取り上げられた回数や放映秒数、紙面サイズや閲覧回数等から計測(専門事業者への委託) 目標値の根拠：イベント当日のメディア注目度の高まりに加え、名古屋市内における積極的なプロモーション活動より露出機会が拡大することから、初年度は90億円のメディア露出価値を見込み、その後も断続的な広報展開や地域連携により各年5億円の増を目標とする。※初年度の見込み額は国内類似事例における実績値を基礎資料として設定している。											
	KPI④ホストタウンパートナーによる協賛数 3市を中心に地元企業等から募集するホストタウンパートナーは、本イベントを通じて地域企業・団体などが参画し、広域産業クラスター形成に向けた協働体制の拡大状況を示す重要な指標であるとともに、自主財源の確保という観点からも大きな意義をもつことから指標の一つとして設定する。3市連携により、多様なパートナーシップの拡大が期待される。 計測手法：豊田市、名古屋市の恵那市を中心とした開催市町で集めるホストタウンパートナーの登録数、協賛企業数等を合算して算出 目標値の根拠：都市部と山間地域の双方に企業参画の機会が広がることから、初年度は163団体を見込む。また、都市部でのプロモーションや情報発信強化により認知度が向上し、翌年度以降は毎年32団体の増加を目標とする。※初年度の見込み額は国内類似事例における実績値を基礎資料として設定している。											
	KPI⑤大会運営協力者数 地域人材の活用度や若者の参画状況を測る指標であり、参加者データの蓄積により年次比較が容易である。 計測手法：競技運営に携わるマージャー参加者数、来訪者対応や来訪者へのおもてなしに携わるボランティア参加者数から算出 目標値の根拠：都市部住民を含めた幅広い層が参加しやすい体制が整うことで、初年度は2,635人を見込む。また、参加機会の拡大や認知度向上により、2年目は30人、3年目は20人の増を目標とする。※初年度の見込み額は国内類似事例における実績値を基礎資料として設定している。											
	KPI⑥3市における関連イベントへの来場・参加者数 地域資源との連携により、自動車産業への関心喚起と観光入込客の増加を促し、地域産業の魅力向上と活性化を図るために3市で実施するクルマやラリーに親しむイベント、交通安全教育、環境配慮の取組などの来場者及び参加者数からその効果を測る。 計測手法：「世界ラリー選手権フォーラムエイト・ラリージャパン」「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ」、「豊田しもやまラリー」「WOMEN'S RALLY」等のラリー競技大会来場者数、ラリー教室参加者数等 目標値の根拠：国際的なイベントの開催に伴う注目度の向上や、既存地域以外での関連競技大会の開催や学校等への教育的取組の拡大により、初年度は54万8,950人の来場・参加を見込む。その後も地域での継続的なイベント展開により、各年1,000人の増加を目標とする。※初年度の見込み額は国内類似事例における実績値を基礎資料として設定している。											
	①～⑥のKPIは、統計や大会運営データ、観客調査など毎年同一手法で取得可能な客観的データに基づき、都市型ラリーの効果、広域周遊の拡大、産業クラスターとしての成長度を複数年で継続的に評価できるため、複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している。											
	事業開始前 (現時点)	2026年度 増加分	2027年度 増加分	2028年度 増加分	2029年度 増加分	2030年度 増加分	2031年度 増加分	2032年度 増加分	2033年度 増加分	2034年度 増加分	2035年度 増加分	KPI増加分の累計
	KPI①	0.0000	140.00	5.00	5.00							150.00
	KPI②	0.00	40.00	0.75	0.75							41.50
	KPI③	0.00	90.00	5.00	5.00							100.00
	KPI④	0.00	163.00	32.00	32.00							227.00
	KPI⑤	0.00	2,635.00	30.00	20.00							2,685.00
	KPI⑥	0.00	548,950.00	1,000.00	1,000.00							550,950.00

9. 自立性

取組内容 (事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本文交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。)								
事業全体では、個人及び企業からのふるさと納税を積極的に募集することで、本事業の認知度向上を図り、国際イベントをいかしたまちづくりの取組を日本全国で応援いただく体制を構築する。また、本事業の開催においては、スポンサー企業の協賛を募るほか、自治体主催の強みを生かして地元企業を対象としたホストタウンパートナーの募集を行い、地域企業等との連携強化と自主財源の確保につなげる。また、プロモーションイベントを実施する際は、個別イベントにおける協賛募集も検討し、自主財源の確保に努める。加えて、観戦エリアのチケット収入の最大化を目指し、券種と価格の設定を毎年検討するほか、販路拡大に向けて民間企業を巻き込んだ委託販売、斡旋販売等にも取り組んでいく。								
自主財源の種類		自主財源の内容						
【A】	ふるさと納税(個人版・企業版)	拠出者:個人、企業から公募し、各市の一般財源に充当						
【B】	一般財源(市からの負担金、出資金)	拠出者:豊田市、名古屋市及び恵那市が運営費等の費用の一部を負担						
【C】	協賛金(民間からの出資金含む)	拠出者:協賛企業(パートナー企業)、ホストタウンパートナー、民間出資者(MOSCO、豊田まちづくり株)						
【D】	チケット収入・参加費等	拠出者:競技の観戦者、参加者等から徴収						
【E】	一般財源(負担金、出資金以外)	拠出者:豊田市、名古屋市及び恵那市による直接経費						
各年度における自主財源見込額	事業開始前(現時点)	2026年度(1年目)	2027年度(2年目)	2028年度(3年目)	2029年度(4年目)	2030年度(5年目)	2031年度(6年目)	
【A】		0千円	138,555千円	138,555千円	138,555千円	139,000千円		
【B】		0千円	1,150,000千円	1,150,000千円	1,150,000千円	1,921,000千円		
【C】		0千円	986,935千円	987,000千円	987,000千円	1,000,000千円		
【D】		0千円	231,301千円	235,000千円	235,000千円	300,000千円		
【E】		0千円	72,700千円	72,700千円	72,700千円	95,400千円		
合計		0千円	2,579,491千円	2,583,255千円	2,583,255千円	3,455,400千円	0千円	0千円
交付対象事業経費			2,045,400千円	2,045,400千円	2,045,400千円	0千円	0千円	
うちソフト事業費			2,045,400千円	2,045,400千円	2,045,400千円	0千円	0千円	
うち拠点整備事業費								
総事業費		0千円	3,463,636千円	3,467,400千円	3,467,400千円	3,455,400千円	0千円	0千円

10. 地域の多様な主体の参画

地方公共団体名	分類	産	官	学	金	労	言	住民全般
愛知県豊田市	主体名	①豊田商工会議所、豊田市商業連合協同組合、豊田市中心市街地まちなか宣伝会議、豊田ホテル旅館組合、一般社団法人ツーリズムとよた、トヨタ自動車株式会社、都市再生推進法人TCCM、関連民間施設 ②大会パートナー29社 ③ホストタウンパートナー141社	豊田市、名古屋市、恵那市 岡崎市、設楽町、中津川市 愛知県、岐阜県	①中京大学 ②豊田大谷高等学校 ③豊田市立大畑小学校 ④豊田市・名古屋市・恵那市内小学校(一部)	①豊田信用金庫、JAあいち豊田 ②豊田信用金庫	日本労働組合総連合会 豊田地域協議会	①ひまわりネットワーク株式会社 ②Jスポーツ、テレビ朝日、NHK、AbemaTV ③中京テレビ、CBCテレビ、東海テレビ、名古屋テレビ、テレビ愛知、東海ラジオ、CBCラジオ、FM AICHI、ZIP-FM	①自治区 ②地域盛り上げ部会 ③市民活動団体
	主な役割、意見及び改善方策への反映	①各実行委員会に参画し、得意な分野やノウハウをいかした役割を發揮する。スポンサー、企業版ふるさと納税等による資金や開催ノウハウ、ボランティア、企業バスによる輸送手段の提供等の支援を行う。魅力的な参加・体験型コンテンツやグッズ、お土産品、既存観光資源と組合わせた宿泊・観光プランなどの商品開発を実施する。世界で求められる環境にやさしい自動車の開発と販売を行う。その他民間事業者それぞれの視点でビジネスにつながる事業の企画、立案を行い実施する。また、商工会議所や一般社団法人「ツーリズムとよた」、都市再生推進法人TCCMとおもてなしイベントの実施や参画企業の公募等において連携するとともに、観客輸送のためのバス、タクシー、鉄道事業者との連携、大会や関連イベントの実施のための労働団体やボランティア団体や大学等と連携し、本事業を確実に実施する ②協賛金をいただくとともに、各パートナーの強みをいかし、連携した大会運営を行う(会場設営、保険、クリーンエネルギーなど) ③協賛金をいただくとともに、社員や関係者に豊田市や市内で開催す	豊田市、名古屋市、恵那市が中心となり実行委員会等の官民連携組織を運営し、3市連携で各施策の確実な実行と自立化を進め、山村の振興、交通安全の推進、産業の振興を実現する。また、既存のまちづくり実行委員会を運営し、利益の地元還元、ノウハウの蓄積、人材育成の仕組みを構築するとともに、民間が行う豊田らしい「クルマのまち」のブランドをいかした魅力ある参加・体験型コンテンツの造成や新たな商品開発を支援し、広く国内外に向けて広報する。また、本事業の実施によって得られる成果(交通安全の推進、環境問題への取組等)を地域住民に広く啓発していく。 岡崎市、設楽町、中津川市、豊田市、名古屋市、恵那市を含め本地域の周辺自治体の協力を得て、国際イベントを開催し、産業振興、山村振興を推進する。愛知県及び岐阜県:本事業は、県をまたぐ広域での連携事業となるため、愛知県及び岐阜県でのイベント開催に向けた公安協議や道路使用等の調整に関する支援をお願いしていく。	①大学の講義(スポーツ行政政策論)の中で、3市連携で国際イベントを自治体が主催する意義等を学生に伝えるときともに、自動車産業を支える人材育成を行う。 ②国際イベントに関連したダンスをSNSやテレビ番組等で発信 ③学校行事として、国際イベントを観戦したり、豊田市の取組について学ぶ授業を行うなど、「クルマのまち」のシビックプライドを醸成するような取組を行う。 ④豊田市ゆかりのスポーツ選手「わがまちアスリート」によるスポーツの魅力、選手になったきっかけなどを伝える講義や実演を通して伝え、地元の魅力の再発見やキャリア教育に生かす。	①実行委員会への参画し、会計業務の支援を行う。その他、参画企業の紹介、商品開発をする事業者への財政的助言や融資等をお願いする。 ②海外送金の支援(為替レート優遇対応等)や外国人観光客のための外貨両替業務の維持を行う。	実行委員会への参画、ボランティア募集	①実行委員会への参画、国際イベントに関連する特集番組の作成など ②放映権者として国際イベントに関する番組の制作、報道など ③メディアパートナーとして国際イベントに関する情報発信など	①関係車両などの駐車協力、地域内の調整、道路使用の承諾 ②国際イベントに関連する地域の盛り上げ事業の実施、観戦客等のおもてなしなど ③市民活動を行う断崖が、様々な時期・場所で、国際イベントに関する啓発物の掲示やスポーツ競技に関連した体験・活動等を考えて実施してもらい、その活動に参加した市民等に身近に感じ、興味を持ってもらう

	分類	産	官	学	金	労	言	住民全般
	主体名	一般社団法人中部経済連合会、名古屋商工会議所	経済産業省中部経済産業局、国土交通省中部地方整備局・中部運輸局愛知運輸支局	名古屋大学、中京大学、名古屋都市センター	一般社団法人名古屋銀行協会	日本労働組合総連合会愛知県連合会	株式会社中日新聞社	NPO団体
愛知県名古屋市	主な役割、意見及び改善方策への反映	【役割】「名古屋まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議」委員として参画 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施報告の内容を踏まえた意見聴取を行い、事業内容への反映・改善に取り組む	【役割】「名古屋まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議」委員として参画 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施報告の内容を踏まえた意見聴取を行い、事業内容への反映・改善に取り組む	【役割】「名古屋まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議」委員として参画 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施報告の内容を踏まえた意見聴取を行い、事業内容への反映・改善に取り組む	【役割】「名古屋まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議」委員として参画 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施報告の内容を踏まえた意見聴取を行い、事業内容への反映・改善に取り組む	【役割】「名古屋まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議」委員として参画 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施報告の内容を踏まえた意見聴取を行い、事業内容への反映・改善に取り組む	【役割】「名古屋まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議」委員として参画 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施報告の内容を踏まえた意見聴取を行い、事業内容への反映・改善に取り組む	【役割】「名古屋まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議」委員として参画 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施報告の内容を踏まえた意見聴取を行い、事業内容への反映・改善に取り組む
	分類	産	官	学	金	労	言	住民全般
	主体名	恵那商工会議所、恵那	豊田市、名古屋市、	市内小中学校、連携	十六銀行恵那支店	恵那職業安定所	市記者クラブ/ケーブ	自治組織
岐阜県恵那市	主な役割、意見及び改善方策への反映	【役割】地域企業との連携強化によってスポンサーシップ獲得支援や新たなビジネスチャンスを創出につなげる。また、その意見は今後の商品開発にも反映される。 【意見・改善方策】実行委員会を組織し、恵那商工会議所会頭、恵那商工会長、恵那市観光協会長等に参画いただき、産業振興を推進する立場から、事業実施に向けた意見をいただく。	【役割】豊田市、名古屋市の中心となり官民連携組織を運営し、各施策の確実な実行と自立化を進め、山村の振興、交通安全の推進、産業の振興を実現する。 【意見・改善方策】実行委員会や、関連自治体連携会議で事業の方向性や問題点を検討する。	【役割】出前講座などを通じて、若者の視点から本プロジェクトに意見をいただき、本プロジェクトの内容を充実させる。また学生ボランティア活動などを通じて、青少年育成に寄与する。 【意見・改善方策】実行委員会に、恵那高等学校長、恵那市小中学校校長会長に参画いただき、教育を推進する立場から、事業実施に向けた意見をいただく。	【役割】「恵那市総合計画推進市民委員会」に委員として参画。また、実行委員会の口座作成を通じて、会計業務の支援を行う。 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施内容の報告を行う。	【役割】「恵那市総合計画推進市民委員会」に委員として参画。 【意見・改善方策】8月に行う会議において、実施内容の報告を行う。	【役割】広報活動を通じて本プロジェクト認知度向上を図り、多く市民が参画することを促進する。またPRイベントの記事掲載やTV放映を通じて成功例の共有を行う。 【意見・改善方策】事業の進捗状況やPRイベント情報を記者会見などで共有し、意見をいただく。	【役割】地域の意見を集約し、本プロジェクトの内容に反映させることにより、地域振興に繋げる。住民への情報発信を行い、関係車両などの駐車協力、地域内の調整、道路使用の承諾を得る。ボランティア参加やお店など、地域住民が主体的に参加できる環境を整備する。 【意見・改善方策】実行委員会に、地域自治会会長会議会長、恵那市消防団長、恵那市国際交流協会長等に参画いただき、地域振興を推進する立場から、事業実施に向けた意見をいただく。

11. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

地方公共団体名	外部組織による検証					
	検証時期		検証方法		外部組織の参画者	検証結果の公表方法
愛知県豊田市	毎年度	8月	外部有識者や各種団体等で構成される「スポーツ推進審議会」において、意見聴取を行う。		(株)名古屋グランパスエイト、(公財)豊田市スポーツ協会、中京大学、(一社)豊田市身障協会、豊田市女性スポーツ団体協議会、(株)豊田スタジアム、豊田市スポーツ少年団、豊田市スポーツ推進委員協議会、愛知県中小学校体育連盟、トヨタ自動車(株)、地域スポーツクラブ会議、公募委員	意見聴取の結果は市ホームページ等で公表する。
愛知県名古屋市	毎年度	8月	「名古屋まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議」の委員からの意見聴取により、事業の検証及び事業メニューの見直しを実施		産業界・国の関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアなど	地方版総合戦略の進捗状況報告と併せ、市公式ウェブサイト等において公表
岐阜県恵那市	毎年度	9月	毎年、恵那市総合計画推進市民会議により事業の達成度を検証する。		地域自治体から選出された者、産業界関係者、教育機関関係者、金融機関関係者、労働団体関係者、関係行政機関を代表する者、公共的団体を代表する者	恵那市HPで公表

12. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標											
	現行の地方版総合戦略						次期地方版総合戦略					
愛知県豊田市	2025	年	4月	1日	から	2030年3月31日まで	年	月	日から	年	月	日まで
	基本目標2: 人の流れ・にぎわい・地域への愛着づくり 基本目標4: 人生100年時代をいきいきと暮らせる魅力的な地域をつくる											
愛知県名古屋市	2024	年	4月	1日	から	2029年3月31日まで	年	月	日から	年	月	日まで
	名古屋市長総合計画2028(地方版総合戦略を兼ねるものとして策定) 基本目標5 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれた都市											
岐阜県恵那市	2026	年	4月	1日	から	2030年3月31日まで	年	月	日から	年	月	日まで
	基本方針4 活力・魅力を生み出す											

13. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称			
愛知県豊田市	第2期豊田市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画			
	地域再生計画の区域	愛知県豊田市の全域		
	計画期間	地域再生計画の認定の日	から	2030年3月31日まで
愛知県名古屋市	名古屋市長総合計画2028(地方版総合戦略を兼ねるものとして策定)			
	地域再生計画の区域	名古屋市の全域		
	計画期間	地域再生計画の認定の日	から	2029年3月31日まで
岐阜県恵那市	第2期恵那市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画			
	地域再生計画の区域	岐阜県恵那市の全域		
	計画期間	地域再生計画の認定の日	から	2030年3月31日まで

(別紙1-1) ソフト事業経費内訳

2026.1.27

	2026年度 (1年目)	2027年度 (2年目)	2028年度 (3年目)	2029年度 (4年目)	2030年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	2,045,400千円	2,045,400千円	2,045,400千円	0千円	0千円	6,136,200千円
交付対象事業における ソフト事業経費【②】	1,995,400千円	1,995,400千円	1,995,400千円	0千円	0千円	5,986,200千円
交付対象事業における 施設整備・事業設備・備 品経費【③】	50,000千円	50,000千円	50,000千円	0千円	0千円	150,000千円
交付対象事業における施 設整備・事業設備・備品 経費比率【③/①】	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	2.5%

<2026年度(1年目)>		ソフト事業1年目に実施する全事業の中で、最も早い支出負担行為日(契約日、交付決定日等)					2026	年	4	月	1	日			
全事業期間における本年の位置付け		1年目:名古屋市でのオープニングセレモニー開催を起爆剤としたWRCの開催													
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①		予算計上時期②		予算種別②		予算計上時期③		予算種別③	
2026 年 4 月		2027 年 3 月		2026 年 4 月		当初		年 月				年 月			
交付対象事業経費													2,045,400千円		
交付対象事業におけるソフト事業経費								要素事業数		3		計		1,995,400千円	
1	豊田市・名古屋市・恵那市の3市連携による国際広域イベントの開催								関連するKPI		①、②、③、④、⑤		1,900,000千円		
	①開催に向けた広報、営業活動 122,349千円 豊田市・名古屋市・恵那市の3市が連携し、都市部の発信力と山村地域の特性を生かした開催体制を構築する。大都市圏の高い集客力・情報発信力を生かし、名古屋圏域を起点に全国・海外へ向けた広域プロモーションを新規に展開することで、若年層・ファミリー層・インバウンドといった新たな人の流れの創出を図る。 また、都市部での開催により生まれる新たな露出価値や交流機会を活用し、協賛企業やホストタウンパートナーとの連携を強化することで、持続可能な大会運営体制の確立と地域経済への波及効果の最大化を目指す。 本事業は、実行委員会が実施する広報・営業活動に対し、3市が連携して支援することで、広域的な効果創出と将来的な大会発展につなげる。 内容: パートナー募集、環境にやさしい大会づくりに係る費用、プロモーション費 等 主な経費: 総務費(680,147千円)、プロモーション費(42,202千円) ※詳細は別紙のとおり ②都市型国際スポーツイベント開催に向けた実証的な受入基盤構築・運営費用 1,177,651千円 名古屋市においてオープニングセレモニーを実施し、大都市圏における多数来訪者の受入れや公共空間を活用した運営方法について実証的にノウハウを蓄積する。これにより、都市型国際スポーツイベントの開催に必要な受入基盤を新たに整備し、今後の持続的なイベント誘致・展開に資する体制を構築する。 内容: セレモニーの開催、スペシャルステージ及び観戦エリアの検討・調査、サービスパークの検討・設営及び当日の運営 など 主な経費: 会場費(1,177,651千円) ※詳細は別紙のとおり 本事業は、日本有数の大都市であり自動車産業の集積地である名古屋市が主催者として参画し、都市部と地域におけるプログラムを一体的に展開することにより、国際的な発信力を備えたイベント運営体制を構築するものである。本事業は、モータースポーツを起点に、産業PR、人材育成、観光誘客を一体的に推進し、日本の自動車産業の競争力強化と国際的な認知度向上に資する先導的モデルとして、全国・世界へ発信する意義を有する。 そして、実行委員会が実施する事業に対し3市が連携して支援することで、広域的な受入体制と運営ノウハウの蓄積を図り、将来的な大型イベント誘致、地域経済波及、持続可能なイベント運営モデルの構築につなげることを目的とする。														
2	【豊田市 1,150,000千円 名古屋市 350,000千円 恵那市 400,000千円】								関連するKPI		①、②、④		67,700千円		
	広域連動型観光プロモーション・地域魅力創出事業														
■観光要素を取り入れたプロモーションの展開及び地域資源を生かした魅力創出事業 67,700千円 本事業は、国際イベントとしての高い集客力と認知度を生かし、都市部から山村部までを横断する広域的な観光誘客及び回遊促進を目的として、各市が主体となり実施する連動型事業である。特に、名古屋市が連携主体として加わるにより情報発信力が強化されることで、観光入込客の増加や滞在時間の延伸を図り、地域経済への波及効果を最大限高める。大会の周知や盛り上げにとどまらず、来訪者の行動導線や滞在体験を意識したおもてなし等の取組を通じて、大会後の再来訪や継続的な交流につなげる点に新規性があり、各市が地域特性を踏まえて事業を実施することで、広域イベントの効果を地域に波及させ、一過性に終わらない人の流れの創出と地域消費の拡大を図り、将来的な観光振興及び地域活性化につなげる。 内容: スペシャルステージ及びリエゾン周辺における地域周遊型イベント等を開催するとともに、大会を盛り上げ、来訪者の再来を促進するためのおもてなし等事業費 経費 豊田市: プロモーション費 30,898千円／地域盛り上げ費 16,302千円 (プロモーション費 30,898千円の内1,500千円対象外経費) 名古屋市: 盛り上げイベント委託費 7,000千円 恵那市: プロモーション費 8,500千円／盛り上げイベント会場運営費 6,500千円														【豊田市 45,700千円 名古屋市 7,000千円 恵那市 15,000千円】	

	地域産業の裾野拡大を目指した競技会支援及び人材育成事業	関連するKPI	⑥	
	■大都市圏が有する高い集客力・情報発信力を生かし、名古屋圏を起点として全国及び海外へ向けた広域的なプロモーションを展開する好機を最大限に活用するため、本事業を契機として、幅広い世代に向けたモータースポーツの裾野拡大を目指す。 具体的には、初心者向け競技会の開催やこどもへのアプローチ強化による次世代の産業人材育成、女性選手の参戦拡大に向けた競技会の実施等に取り組む。あわせて、地域資源との連携を図ることで、自動車産業への関心喚起及び観光入込客の増加を促進し、地域産業の魅力向上と活性化を図る。			
	①モータースポーツの裾野拡大を目指した初心者向けラリー競技会の開催支援 13,000千円 内容: 地元運営となるラリー競技の開催 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 経費: 実行委員会負担金13,000千円(内訳: 観客安全対策費240千円、シャトルバス輸送費300千円、イベント開催費2,600千円、会場借料2,000千円、会場清掃費300千円、公式プログラム作成費800千円、警備費5,020千円、チケット管理運営費1,000千円、運営費540千円、イベント保険費200千円) 場所: 豊田市			
3	②モータースポーツを基軸とした官民連携による人材育成事業 7,100千円 内容: クルマやラリーに親しむイベント、交通安全教育、環境配慮の取組など、多様な層が参加しやすい事業を展開する。将来の自動車産業や地域活動を担う人材の育成につなげる視点に新規性があり、本事業を通じて、モータースポーツを入口とした学びと関心の醸成を図り、地域産業の持続的発展及び次世代人材の裾野拡大を目指す。 方法: 3市で連携した上で、各市で実施 経費: ラリー教室開催業務委託費 7,100千円 場所: 豊田市(1,500千円)、名古屋市(5,000千円)、恵那市(600千円)			27,700千円
	③女性選手の参戦拡大を目指したラリー競技会の開催支援 2,600千円 内容: 女城主の里にちなんだ女性ドライバーによるラリー競技の開催 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 主な経費: 実行委員会負担金(1,500千円)、看板制作等委託費(800千円)、消耗品費(300千円) 場所: 恵那市			
	④スカベンジャー・EVラリーの開催 5,000千円 内容: 参加者が指定されたエリアを巡りながら、課題や手がかりを探し、集め、解決していく参加型のラリーイベント。ラリーの啓発だけでなく、飲食・物販・施設利用など、地域経済への波及効果を図る。EVラリー部門では、電気自動車(EV)の普及促進、走行安全性や効率的・実用的な充電技術の検証、環境保護(脱炭素)の啓発を図る。 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 主な経費: 実行委員会負担金(2,500千円)、看板製作等委託費(2,000千円)、消耗品費(500千円) 場所: 恵那市			
	交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費	要素事業数	1	計
				50,000千円
1	開催に必要な施設・設備整備事業 ■開催に必要な施設整備費 50,000千円(豊田市) 内容: 国際イベントの会場となる既存施設において、より多くの方が観戦できるようにするため、観戦可能となるスペースと当該スペースへの導線を整備する。 施設: 鞍ヶ池公園(豊田市) 【豊田市 50,000千円(工事請負費、測量設計等委託料)】	関連するKPI	①、②、③、④、⑤	50,000千円

地方公共団体別交付対象事業経費内訳

地方公共団体名	ソフト事業経費	施設整備・事業設備・備品経費	地方公共団体計
愛知県豊田市	1,210,200千円	50,000千円	1,260,200千円
愛知県名古屋市	362,000千円	0千円	362,000千円
岐阜県恵那市	423,200千円	0千円	423,200千円

<2027年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		2年目:名古屋市での競技実施等も見据えたWRCの開催					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2027 年 4 月	2028 年 3 月	2027 年 4 月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		2,045,400千円					
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	3	計
1 豊田市・名古屋市・恵那市の3市連携による国際広域イベントの開催					関連するKPI	①、②、③、④、⑤	1,995,400千円
①開催に向けた広報、営業活動 722,349千円 豊田市・名古屋市・恵那市の3市が連携し、都市部の発信力と山村地域の特性を生かした開催体制を構築する。大都市圏の高い集客力・情報発信力を生かし、名古屋圏域を起点に全国・海外へ向けた広域プロモーションを新規に展開することで、若年層・ファミリー層・インバウンドといった新たな人の流れの創出を図る。 また、都市部での開催により生まれる新たな露出価値や交流機会を活用し、協賛企業やホストタウンパートナーとの連携を強化することで、持続可能な大会運営体制の確立と地域経済への波及効果の最大化を目指す。 本事業は、実行委員会が実施する広報・営業活動に対し、3市が連携して支援することで、広域的な効果創出と将来的な大会発展につなげる。 内容:パートナー募集、環境にやさしい大会づくりに係る費用、プロモーション費 等 主な経費:総務費(680,147千円)、プロモーション費(42,202千円) ※詳細は別紙のとおり ②都市型国際スポーツイベント開催に向けた実証的な受入基盤構築・運営費用 1,177,651千円 名古屋市においてオープニングセレモニーを実施し、大都市圏における多数来訪者の受入れや公共空間を活用した運営方法について実証的にノウハウを蓄積する。これにより、都市型国際スポーツイベントの開催に必要な受入基盤を新たに整備し、今後の持続的なイベント誘致・展開に資する体制を構築する。 内容:セレモニーの開催、スペシャルステージ及び観戦エリアの検討・調査、サービスパークの検討・設営及び当日の運営 など 主な経費:会場費(1,177,651千円) ※詳細は別紙のとおり 本事業は、日本有数の大都市であり自動車産業の集積地である名古屋市が主催者として参画し、都市部と地域におけるプログラムを一体的に展開することにより、国際的な発信力を備えたイベント運営体制を構築するものである。本事業は、モータースポーツを起点に、産業PR、人材育成、観光誘客を一体的に推進し、日本の自動車産業の競争力強化と国際的な認知度向上に資する先導的モデルとして、全国・世界へ発信する意義を有する。 そして、実行委員会が実施する事業に対し3市が連携して支援することで、広域的な受入体制と運営ノウハウの蓄積を図り、将来的な大型イベント誘致、地域経済波及、持続可能なイベント運営モデルの構築につなげることを目的とする。 【豊田市 1,150,000千円 名古屋市 350,000千円 恵那市 400,000千円】							1,900,000千円
2 広域連動型観光プロモーション・地域魅力創出事業					関連するKPI	①、②、④	67,700千円
■観光要素を取り入れたプロモーションの展開及び地域資源を生かした魅力創出事業 67,700千円 本事業は、国際イベントとしての高い集客力と認知度を生かし、都市部から山村部までを横断する広域的な観光誘客及び回遊促進を目的として、各市が主体となり実施する連動型事業である。特に、名古屋市が連携主体として加わることにより情報発信力が強化されることで、観光入込客の増加や滞在時間の延伸を図り、地域経済への波及効果を最大限高める。大会の周知や盛り上げにとどまらず、来訪者の行動導線や滞在体験を意識したおもてなし等の取組を通じて、大会後の再来訪や継続的な交流につなげる点に新規性があり、各市が地域特性を踏まえて事業を実施することで、広域イベントの効果を地域に波及させ、一過性に終わらない人の流れの創出と地域消費の拡大を図り、将来的な観光振興及び地域活性化につなげる。 内容:スペシャルステージ及びリエゾン周辺における地域周遊型イベント等を開催するとともに、大会を盛り上げ、来訪者の再来を促進するためのおもてなし等事業費 経費 豊田市:プロモーション費 30,898千円／地域盛り上げ費 16,302千円 名古屋市:盛り上げイベント委託費 7,000千円 恵那市:プロモーション費 8,500千円／盛り上げイベント会場運営費 6,500千円 【豊田市 45,700千円 名古屋市 7,000千円 恵那市 15,000千円】							

3	地域産業の裾野拡大を目指した競技会支援及び人材育成事業 ■大都市圏が有する高い集客力・情報発信力を生かし、名古屋圏域を起点として全国及び海外へ向けた広域的なプロモーションを展開する好機を最大限に活用するため、本事業を契機として、幅広い世代に向けたモータースポーツの裾野拡大を目指す。 具体的には、初心者向け競技会の開催やこどもへのアプローチ強化による次世代の産業人材育成、女性選手の参戦拡大に向けた競技会の実施等に取り組む。あわせて、地域資源との連携を図ることで、自動車産業への関心喚起及び観光入込客の増加を促進し、地域産業の魅力向上と活性化を図る。 ①モータースポーツの裾野拡大を目指した初心者向けラリー競技会の開催支援 13,000千円 内容: 地元運営となるラリー競技の開催 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 経費: 実行委員会負担金13,000千円 場所: 豊田市 ②モータースポーツを基軸とした官民連携による人材育成事業 7,100千円 内容: クルマやラリーに親しむイベント、交通安全教育、環境配慮の取組など、多様な層が参加しやすい事業を展開する。将来の自動車産業や地域活動を担う人材の育成につなげる視点に新規性があり、本事業を通じて、モータースポーツを入口とした学びと関心の醸成を図り、地域産業の持続的発展及び次世代人材の裾野拡大を目指す。 方法: 3市で連携した上で、各市で実施 経費: ラリー教室開催業務委託費 7,100千円 場所: 豊田市(1,500千円)、名古屋市(5,000千円)、恵那市(600千円) ③女性選手の参戦拡大を目指したラリー競技会の開催支援 2,600千円 内容: 女城主の里にちなんだ女性ドライバーによるラリー競技の開催 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 主な経費: 実行委員会負担金(1,500千円)、看板制作等委託費(800千円)、消耗品費(300千円) 場所: 恵那市 ④スカベンジャー・EVラリーの開催 5,000千円 内容: 参加者が指定されたエリアを巡りながら、課題や手がかりを探し、集め、解決していく参加型のラリーイベント。ラリーの啓発だけでなく、飲食・物販・施設利用など、地域経済への波及効果を図る。EVラリー部門では、電気自動車(EV)の普及促進、走行安全性や効率的・実用的な充電技術の検証、環境保護(脱炭素)の啓発を図る。 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 主な経費: 実行委員会負担金(2,500千円)、看板製作等委託費(2,000千円)、消耗品費(500千円) 場所: 恵那市	関連するKPI	⑥	27,700千円
	交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費	要素事業数	1 計	50,000千円
	開催に必要な施設・設備整備事業 ■開催に必要な施設整備費 50,000千円(豊田市) 内容: 国際イベントの会場となる既存施設において、より多くの方が観戦できるようにするために施設を整備する費用(どの施設をどのように整備するかについては、前年度に検討予定) 施設: 豊田市内既存施設 【豊田市 50,000千円(工事請負費、測量設計等委託料)】	関連するKPI	①、②、③、④、⑤	50,000千円

地方公共団体別交付対象事業経費内訳			
地方公共団体名	ソフト事業経費	施設整備・事業設備・備品経費	地方公共団体計
愛知県豊田市	1,210,200千円	50,000千円	1,260,200千円
愛知県名古屋市	362,000千円	0千円	362,000千円
岐阜県恵那市	423,200千円	0千円	423,200千円

<2028年度(3年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		3年目：名古屋市での競技実施等も見据えたWRCの開催						
事業開始時期		事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2028 年 4 月		2029 年 3 月	2028 年 4 月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費								2,045,400千円
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	3	計	1,995,400千円
1	豊田市・名古屋市・恵那市の3市連携による国際広域イベントの開催				関連するKPI	①、②、③、④、⑤		1,900,000千円
	①開催に向けた広報、営業活動 722,349千円 豊田市・名古屋市・恵那市の3市が連携し、都市部の発信力と山村地域の特性を生かした開催体制を構築する。大都市圏の高い集客力・情報発信力を生かし、名古屋圏域を起点に全国・海外へ向けた広域プロモーションを新規に展開することで、若年層・ファミリー層・インバウンドといった新たな人の流れの創出を図る。 また、都市部での開催により生まれる新たな露出価値や交流機会を活用し、協賛企業やホストタウンパートナーとの連携を強化することで、持続可能な大会運営体制の確立と地域経済への波及効果の最大化を目指す。 本事業は、実行委員会が実施する広報・営業活動に対し、3市が連携して支援することで、広域的な効果創出と将来的な大会発展につなげる。 内容：パートナー募集、環境にやさしい大会づくりに係る費用、プロモーション費 等 主な経費：総務費(680,147千円)、プロモーション費(42,202千円) ※詳細は別紙のとおり ②都市型国際スポーツイベント開催に向けた実証的な受入基盤構築・運営費用 1,177,651千円 名古屋市においてオープニングセレモニーを実施し、大都市圏における多数来訪者の受入れや公共空間を活用した運営方法について実証的にノウハウを蓄積する。これにより、都市型国際スポーツイベントの開催に必要な受入基盤を新たに整備し、今後の持続的なイベント誘致・展開に資する体制を構築する。 内容：セレモニーの開催、スペシャルステージ及び観戦エリアの検討・調査、サービスパークの検討・設営及び当日の運営 など 主な経費：会場費(1,177,651千円) ※詳細は別紙のとおり 本事業は、日本有数の大都市であり自動車産業の集積地である名古屋市が主催者として参画し、都市部と地域におけるプログラムを一体的に展開することにより、国際的な発信力を備えたイベント運営体制を構築するものである。本事業は、モータースポーツを起点に、産業PR、人材育成、観光誘客を一体的に推進し、日本の自動車産業の競争力強化と国際的な認知度向上に資する先導的モデルとして、全国・世界へ発信する意義を有する。 そして、実行委員会が実施する事業に対し3市が連携して支援することで、広域的な受入体制と運営ノウハウの蓄積を図り、将来的な大型イベント誘致、地域経済波及、持続可能なイベント運営モデルの構築につなげることを目的とする。 【豊田市 1,150,000千円 名古屋市 350,000千円 恵那市 400,000千円】							
2	広域運動型観光プロモーション・地域魅力創出事業				関連するKPI	①、②、④		67,700千円
	■観光要素を取り入れたプロモーションの展開及び地域資源を生かした魅力創出事業 67,700千円 本事業は、国際イベントとしての高い集客力と認知度を生かし、都市部から山村部までを横断する広域的な観光誘客及び回遊促進を目的として、各市が主体となり実施する運動型事業である。特に、名古屋市が連携主体として加わることで情報発信力が強化されることで、観光入込客の増加や滞在時間の延伸を図り、地域経済への波及効果を最大限高める。大会の周知や盛り上げにとどまらず、来訪者の行動導線や滞在体験を意識したおもてなし等の取組を通じて、大会後の再来訪や継続的な交流につなげる点に新規性があり、各市が地域特性を踏まえて事業を実施することで、広域イベントの効果を地域に波及させ、一過性に終わらない人の流れの創出と地域消費の拡大を図り、将来的な観光振興及び地域活性化につなげる。 内容：スペシャルステージ及びリエゾン周辺における地域周遊型イベント等を開催するとともに、大会を盛り上げ、来訪者の再来を促進するためのおもてなし等事業費 経費 豊田市：プロモーション費 30,898千円／地域盛り上げ費 16,302千円 名古屋市：盛り上げイベント委託費 7,000千円 恵那市：プロモーション費 8,500千円／盛り上げイベント会場運営費 6,500千円 【豊田市 45,700千円 名古屋市 7,000千円 恵那市 15,000千円】							

地域産業の裾野拡大を目指した競技会支援及び人材育成事業		関連するKPI	⑥	
■大都市圏が有する高い集客力・情報発信力を生かし、名古屋圏域を起点として全国及び海外へ向けた広域的なプロモーションを展開する好機を最大限に活用するため、本事業を契機として、幅広い世代に向けたモータースポーツの裾野拡大を目指す。 具体的には、初心者向け競技会の開催やこどもへのアプローチ強化による次世代の産業人材育成、女性選手の参戦拡大に向けた競技会の実施等に取り組む。あわせて、地域資源との連携を図ることで、自動車産業への関心喚起及び観光入込客の増加を促進し、地域産業の魅力向上と活性化を図る。				
3	①モータースポーツの裾野拡大を目指した初心者向けラリー競技会の開催支援 13,000千円 内容: 地元運営となるラリー競技の開催 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 経費: 実行委員会負担金13,000千円 場所: 豊田市			
	②モータースポーツを基軸とした官民連携による人材育成事業 7,100千円 内容: クルマやラリーに親しむイベント、交通安全教育、環境配慮の取組など、多様な層が参加しやすい事業を展開する。将来の自動車産業や地域活動を担う人材の育成につなげる視点に新規性があり、本事業を通じて、モータースポーツを入口とした学びと関心の醸成を図り、地域産業の持続的発展及び次世代人材の裾野拡大を目指す。 方法: 3市で連携した上で、各市で実施 経費: ラリー教室開催業務委託費 7,100千円 場所: 豊田市(1,500千円)、名古屋市(5,000千円)、恵那市(600千円)			
	③女性選手の参戦拡大を目指したラリー競技会の開催支援 2,600千円 内容: 女城主の里にちなんだ女性ドライバーによるラリー競技の開催 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 主な経費: 実行委員会負担金(1,500千円)、看板制作等委託費(800千円)、消耗品費(300千円) 場所: 恵那市			
	④スカベンジャー・EVラリーの開催 5,000千円 内容: 参加者が指定されたエリアを巡りながら、課題や手がかりを探し、集め、解決していく参加型のラリーイベント。ラリーの啓発だけでなく、飲食・物販・施設利用など、地域経済への波及効果を図る。EVラリー部門では、電気自動車(EV)の普及促進、走行安全性や効率的・実用的な充電技術の検証、環境保護(脱炭素)の啓発を図る。 方法: 実行委員会が実施するイベントの事業費の一部を市が支援 主な経費: 実行委員会負担金(2,500千円)、看板製作等委託費(2,000千円)、消耗品費(500千円) 場所: 恵那市			
	【豊田市 14,500千円 名古屋市 5,000千円 恵那市 8,200千円】			
27,700千円				
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費		要素事業数	1	計
				50,000千円
1	開催に必要な施設・設備整備事業		関連するKPI	①、②、③、④、⑤
	■開催に必要な施設整備費 50,000千円(豊田市) 内容: 国際イベントの会場となる既存施設において、より多くの方が観戦できるようにするために施設を整備する費用(どの施設をどのように整備するかについては、前年度に検討予定)			
50,000千円				
【豊田市 50,000千円(工事請負費、測量設計等委託料)】				

地方公共団体別交付対象事業経費内訳			
地方公共団体名	ソフト事業経費	施設整備・事業設備・備品経費	地方公共団体計
愛知県豊田市	1,210,200千円	50,000千円	1,260,200千円
愛知県名古屋市	362,000千円	0千円	362,000千円
岐阜県恵那市	423,200千円	0千円	423,200千円